



全国の河川改修の事例を紹介する島谷教授

商工会で街づくり勉強会

11月15日、さつま町商工会主催による商店街の景観や自然環境に配慮した河川改修と街づくりについての勉強会が宮之城商工会館で行われました。

さつま町商工会の小牧紘一会長は「将来永きにわたり、川と街が共生できる河川改修が実施できるように我々もしっかりと勉強していきましょう」とあいさつされました。

講師として招かれた、国土交通省の激特事業及び災害助成事業等における多自然型川づくりアドバイザーでもある九州大学工学部の島谷幸宏教授は、福岡県筑豊地区を流れる遠賀川など全国の河川環境に配慮した河川改修の事例を紹介され、「川内川は川のせせらぎや川辺にある昔ながらの樹木も豊富に残っており、雰囲気も非常によい。環境に配慮した工法が必要である」と10月上旬に行った現地調査の結果を話

されました。また、「激特事業は5カ年で実施しなくてはならない。一年をめどに、何度も繰り返し話し合いをして、住民の合意形成を図り、河川改修計画に意見が反映できるよう努力する必要がある。次の世代にどのような街が残せるのかが重要である」とアドバイスされました。

災害お見舞い ありがとうございました

10月21日~11月21日受付分 405,673円

義援金総額 58,179,756円(11月21日現在)

10月21日から11月21日までの役場受付分は、次のとおりです。(敬称略)

義援金 (受付順)

山田つぎよ、柳元裕市、隼人べんとう、ウイズン、鹿児島情報高等学校教職員、一同・生徒一同、樋渡とよ子、立本信義、薩摩中央高校Sクラブ、匿名1件

中津川サッカースポーツ少年団 清掃活動で地域に恩返し

10月28日、中津川サッカースポーツ少年団(米森聖司監督)21人が練習試合の後、中津川公民館の清掃ボランティアを行いました。

この活動は、日頃お世話になっている地域に何か恩返しをしようと思いい、地域の方々の憩いの場である公民館の清掃をみんなで考えました。

今回のボランティアは、さつま町ボランティア活動補助金を活用しビニール袋などを購入しました。団員21人は、花壇の草取りや駐車場のホウキで掃くなど一生懸命ボランティア活動に励んでいました。



清掃活動に取り組むサッカースポーツ少年団員

県教育委員学校訪問

11月2日、鹿児島県の教育委員一行が薩摩中学校と白男川小学校を訪問されました。

県教育委員は、毎年「かごしまの教育県民週間」期間中に、特色ある学校を訪問されますが、今年は、白男川小学校の県内初の児童待機スペースと薩摩中学校の連続五日間の職場体験学習を中心に視察されました。

訪問された唐鎌教育委員は「子どもたちの表情が明るく、本当に素直ですね。参観している保護者の皆さんも満足されているでしょう」とさつま町の取り組みを高く評価されました。

町内の全小中学校は、地域に開かれた学校をめざして頑張っています。地域の皆さんも是非学校へ出かけてみてください。



白男川小学校を視察する県教育委員